

67
聞いてきました
みんなの広場

今回は「岩倉自然公園水辺の森を愛する会」を
笠原委員が取材しました

水辺の森の自然を守るために

会の発足時期は 平成23年ごろ、水辺の森を多くの皆さんに親しんでいただけるようにしたいと昔の「しょうびん沼」の環境整備を始めました。昨年までの名称は「水辺の森有効活用実行委員会」でした。

会の目的は 住民の自主的・自発的な社会貢献活動を通して、住民が自らの力で課題を解決することにより、誇りの持てる住みよい玉村町を実現することを目的としています。

活動は 事務局は住民活動サポートセンター「ばる」に置き、平成24年9月30日の「水辺の森フェスタ」ではミニ電車や昔の遊び、玉村味自慢テント村や音楽とダンスなど盛大に行いました。



平成25年8月は、せせらぎ水遊びでスイカ割り、竹細工、水車づくり等多数の娯楽や遊びで毎回盛大に町内外の方に楽しんでもらっています。

要望はありますか？

河川敷内のため、会場整備には相当の労力を必要としますので、たくさんの方の協力が不可欠です。玉村町の自然財産を守るために、これからも一人でも多くの方が参加して下さることを願っています。

お話を伺ったのは
代表 加賀美宏さん
TEL 0270-65-7155 (「ばる」内)

こちら編集室

たまむら 議会だより
賑わいで 売りの切れ続出
道の駅 (詠み人 たかさん)

8月は猛暑、9月は関東・東北豪雨による記録的に降り続いた大雨で河川の増水や氾濫、土砂崩れが相次ぎ、鬼怒川の堤防が決壊。さらに阿蘇山の噴火など今年も災害が多数発生しました。災害への対応について改めて認識を深めていく必要を痛感しています。

玉村町では、東毛広域幹線道路(国道354)やスマートICが開通し、道の駅もオープンしました。玉村町は、これから大きく変貌していきます。



議会広報特別委員会

- 委員長 高橋茂樹
- 副委員長 石内俊彦
- 委員 波辺孝
- 委員 笠原則孝
- 委員 島田榮一
- 委員 柳沢浩一
- 議長

町の発展への期待と課題に、町・議会の取り組みが注目されていると感じます。見てもいえる・手にとってもいえる「議会だより」を目指して、紙面の編集・改訂していきます。

次回定例会の予定

12月3日

開会予定です

本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます

9月議会の傍聴者は
161人でした。
(男性：117人・女性44人)

